



薩摩川内市立平佐西小学校 学校だより

10月号 木の棟

10月 
令和6年10月22日発行

<http://www.edu.satsumasendai.jp/hirasanishi-e/>

[\[hirasanishi-kyoutou@edu-satsumasendai.jp\]](mailto:hirasanishi-kyoutou@edu-satsumasendai.jp)

例年より2週間ほど遅い10月20日(日)に、市誕生20周年記念第78回運動会が開催されました。子供たち一人一人が、それぞれの種目に精一杯取り組む姿は心に迫るものがあり、すばらしいと感じました。当日は、御家族の皆様の心温まる声援をありがとうございました。

「ウェルビーイング(Well-being)」

校長 新田 賢一



ある自動車関係の社団法人が発刊している季刊誌に「幸せって何だろう」というコーナーが連載されています。著名人がリレー方式で「幸せ」についてそれぞれの思いを綴るコーナーです。

例えば、漫画家のヤマザキマリさんは、「面白い本や映画に出会えた時。大好きな音楽を聴いている時。友人と気兼ねなくおしゃべりをしている時。日当たりの良い場所で寝ている猫の顔を見ている時…」などに幸せを感じるそうです。また、作家・演出家の鴻上尚史さんは、「幸福とは、結局、自分が『何を幸福だと思うか』ということを見つけることなんだ」と書かれています。

現在は、「幸福学」という分野の学問まであり、様々な角度から「幸せ」についての研究が進んでいます。

標題の「ウェルビーイング(Well-being)」という言葉は、最近よく耳にするようになった言葉で、国の教育施策の方向性にも明記されています。

その意味は、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあること」を言い、「短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものであり、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む概念」とされています。

新しい言葉のように感じますが、1946年に世界保健機関(WHO)が設立された際に、「健康」を定義づける言葉として使われたのが始まりです。

令和6年度は、平佐西小学校の「学校経営グランドデザイン」の中に「日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上」という言葉を盛り込みました。子供たちが幸せな人生を送ることは、全ての保護者や教師の願いです。

「幸福学」研究の第一人者である慶応義塾大学大学院教授の前野隆司先生は、幸せを感じる具体例を分類すると、大きく次の4つになると提唱されています。

- ① 「やってみよう」(自己実現と成長) ② 「ありがとう」(つながりと感謝)
- ③ 「なんとかなる」(前向きと楽観) ④ 「ありのままに」(独立と自分らしさ)

学校でもこれら4つを意識しながら、子供たちのウェルビーイングの向上を目指していきます。

そして、子供たちを取り巻く我々大人自身についても、それぞれのウェルビーイングを実現させることが、子供たちにとって大切だと考える今日この頃です。



10月

今後(10/22~11/30)の予定



22・23日 カンガルー事業(5年)、見学学習(3年) 25日(金) 薩摩川内元気塾(4年)
24・25・30日 串木野特支学校居住地交流 26日(土) 薩摩川内はんやジュニア大会
30日(水) 市誕生20周年記念事業仲よし音楽会(4年)

11月

1日~ 校内読書月間(~30日) 3日(日) 薩摩川内はんやまつり(PTA希望者参加)
5~7日 授業参観週間 5日: おもちゃフェスティバル(2年)、歯科衛生指導(1年)
6日: 昔遊びをしよう(1年)、歯科衛生指導(4年)
7日: オータムフェスタ(3年)、いのちの授業(6年)
5日: PTA役員会・12日: PTA評議員会 8日(金) クラブ活動(上学年)
12~14日 集団宿泊学習(5年) ※15日: 休養措置日 15日(金) 見学学習(1~3年)
19日(月) 小小交流活動(平佐東小と: 4年) 20日(水) 火災避難訓練(全学年)
24日(日) 平佐西地区生涯学習フェア 25・26・28日 ペースランニング大会(中・低・高の順)
27日(水) 小学校陸上記録会(選手児童) 29日(金) さわやか交流会(特支児童)
30日(土) スキットコンテスト(純大: 希望者)





薩摩川内市誕生20周年記念第78回運動会



「Let's begin the sports day」の開会宣言でスタート！

仲間たちと楽しみ、そして真剣に取り組みました！



【 整然とした雰囲気での開会式 】

爽やかな秋空の下で、全校児童が運動場を
いっぱいに使って大活躍した第78回運動会。

どの種目も、見ていて微笑ましく思わず力が
入ったり、胸が熱くなったりしました。頑張っ
た子供たちに、心から拍手を送ります。



【 1年：西っ子1年生は最強！（表現） 】



【 親児の会と職員の手で完成 】



【 2年：平佐西タイフーン（団種） 】



【 3年：平佐西はんや隊（表現） 】



【 6年：西っ子エイサー（表現） 】

芸術鑑賞会

9/27（金）は芸術鑑賞会
が行われました。生楽器演
奏は、学年に合わせた選曲
がされており、子供たちは
興味深く聴き入っていました。



【 学年に合わせた曲の演奏 】

下学年での鑑賞終了間際には、出演者とのやり取
りに加えて、アンコールの声と拍手が自然に出る場
面もあり、情操を育む貴重な機会になりました。

子ども大学(鹿児島純心大学講座)

9/27(金)の午後から、
「子ども大学」があり、
遠藤武夫教授をお迎えし
て、4年生が合唱指導を
受けました。子供たちか
らの「高い声の出し方は
どうすればいいですか。」
などの質問に対しても、一つ一つ丁寧に回答してい
ただきました。



【先生と子供たちと積極的な対話】

薩摩川内元気塾(松永信也さん講演)

10月8日(火)に、5年生は視覚障害者の方々の
思いや言葉掛けなどについて、多くのことを考え、
学ぶ機会になりました。「手伝
いましょうか」と白杖を持った
方を見かけたら声を掛ける児童
も増えると思います。



【 熱心にメモを取る子供たち 】

「どうしてサングラスをかけ
ているんですか。」という質問
に、「顔付近の障害物から守る
ためにかけていますよ。」いう
答えにうなずいている姿が見
られました。

入賞おめでとうございます！

【 南日本硬筆展 】

県小学校国語部会賞 2年 坂川 柚葉
南日本芸術学園賞 6年 大林 来空

【 県MOA美術館児童作品 】

入選 5年 二ノ方 陽平

【 防犯ポスター図画作品展 】

防火管理協会会長賞

6年 内田 湊

消防局長賞

6年 園田 恭祐

銅賞 1年 中村 杏

5年 福元 こはな

入選 5年 立元 結斗



【 防犯ポスター作品展
最高賞のW受賞は初！ 】

居場所があ～る・絆をつく～るコーナー

1年生の「昔遊び」交流に、地区コミュの高齢者部や民生委員の方々20
数人が「昔遊び名人」として来校され、紙トンボ・けん玉・あやとり・お手
玉・紙ひこうきなどのグループに分かれて、一緒に活動してくださいました。
対面での交流を通して「世代間の絆」や「ぬくもり」を感じました。一緒に
活動することで、子供たちの共感力や思いやりの心も高まっているようです。
毎年ありがとうございます。地域の方々の御支援に心より感謝申し上げます。



【 交流後にお礼を伝える児童 】